

平成 19 年 4 月 11 日

厚生労働省大臣官房国際課

日中韓三国保健大臣会合について

1. 会合の概要

- (1) 4月8日、韓国（ソウル）において、第1回日中韓三国保健大臣会合が開催された。
日本は柳澤伯夫厚生労働大臣、韓国は柳時敏（ユ・シミン）保健福祉部長官、中国は高強（ガオ・チャン）衛生部長が出席し、鳥・新型インフルエンザ対策を中心に意見交換を行った。
- (2) 本会議において、「日中韓 新型インフルエンザへの共同対応に関する覚書」に署名するとともに、「共同声明」が発表された。

2. 議論の概要

- (1) 鳥・新型インフルエンザ対策について、「日中韓 新型インフルエンザへの共同対応に関する覚書」に三大臣が署名。当該覚書は、検疫・サーベイランス・情報共有・診断・治療等の分野における協力体制の強化、机上訓練の実施、研究者の交流、政府高官による年次会合の開催等を内容とする。
- (2) 我が国より、今後の協力分野として、鳥・新型インフルエンザ対策に加えて、優れた医薬品をより早く開発するための「臨床研究」、及び大規模自然災害の発生やバイオテロへの対応能力を強化するための「健康危機管理対策」を提案し、韓国及び中国より賛同を得、共同声明に盛り込まれた。
- (3) 韓国より、鳥・新型インフルエンザ対策について、三カ国が等分の拠出による基金を創設することを提案した。我が国は、WHO と連携を図りつつ、三カ国が協調して対応することに賛同した。
- (4) 今後も日中韓三国保健大臣会合を定期的に開催することで合意した。
(次回の日中韓三国保健大臣会合は、2008 年に北京にて開催予定。)

3. 日韓保健大臣会談

日中韓三国保健大臣会合に先立ち、7日午後、柳澤厚生労働大臣は、韓国ユ・シミン保健福祉部長官と会談を行った。概要は以下のとおり。

- (1) 鳥・新型インフルエンザをはじめとする感染症対策、臨床研究、健康

危機管理等の保健医療分野に関する三カ国の協力強化の重要性について認識を共有した。

- (2) 韓国側より、高齢者に優しい産業振興を今後の二国間の協力分野とすることが提案され、我が国より、これまでの経験やノウハウを共有することは有益である旨発言した。

4. 日中保健大臣会談

日中韓三国保健大臣会合に先立ち、7日午後、柳澤厚生労働大臣は、中国ガオ・チャン衛生部長と会談を行った。概要は以下のとおり。

- (1) 鳥・新型インフルエンザをはじめとする感染症対策、臨床研究、健康危機管理等の保健医療分野に関する三カ国の協力強化の重要性について認識を共有した。
- (2) また、がん対策に関する「日中医学協力構想」に関して、今後、我が国からの官民合同ミッションの派遣を含め、互いに協力関係を強化していくことを確認した。

5. 今次会合の意義

- (1) 「第1回日中韓三国保健大臣会合」の開催により、日本、中国及び韓国の保健担当大臣が、保健医療分野における協力を拡充し、三カ国が抱える課題に共同で対応する意志を共有した。
- (2) 鳥・新型インフルエンザ対策については、「日中韓 新型インフルエンザへの共同対応に関する覚書」に署名し、はじめて三カ国の政府レベルにおける協力の枠組みが構築された。